

聖徳学園シリーズコンサート NO.1713

第34回 聖徳学園

第九の夕べ

ベートーヴェン

序曲「命名祝日」作品115

交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

指揮：山本 真
管弦楽：東京交響楽団
ソプラノ：宮部 小牧
アルト：磯地 美樹
テノール：望月 哲也
バリトン：青戸 知
合唱：聖徳学園“第九”合唱団
(合唱指導：春日 保人)
日本声楽家協会

2017年12/12(火)

PM 6:15開演

聖徳大学川並香順記念講堂

■主催：聖徳大学 ■入場整理券：¥1,000

■問い合わせ：聖徳大学教育支援課音楽支援グループ

Tel.047-365-1111(代)

聖徳学園シリーズコンサート

(会場:聖徳大学川並香順記念講堂)

山本 真(指揮者)

1948年広島生まれ。14歳よりホルンを始める。
 1966年東京芸術大学入学。ホルンを谷中甚作氏に師事。
 1969年在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。
 同年、東京芸術大学において安宅賞受賞。
 1970年東京芸術大学卒業。
 1973年日本フィルハーモニー交響楽団退団。同年、東京



芸術大学管弦楽学部講師。
 1974年NHK交響楽団入団。
 1981年父・故山本正人指揮 東京吹奏楽団第35回定期演奏会を父が急病のため、代わりに指揮を務める。これをきっかけに吹奏楽の指揮者としての活動をはじめ。

1984年カラヤン指揮、ベルリンフィルハーモニー交響楽団東京公演参加。
 1997年デュトロ指揮モントリオール交響楽団日本公演全5回参加。FMリサイタル、テレビリサイタルに出演する等、ホルン奏者として活躍する傍ら、父の後を継いで、父が初めて日本に作った吹奏楽バンド「聖徳レディーズウインドオーケストラ」の指揮をする。

2004年3月不動の2ndホルンとして30年在籍したNHK交響楽団を退団。現在、聖徳大学音楽学部演奏学科教授。武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあたっている。他、近年では、多摩ウインドオーケストラ、日本各地の吹奏楽バンドを指導、指揮するなど、指揮者としての活動にも大いに力を尽くしている。2005年～2016年聖徳大学シリーズコンサート「第九の夕べ」指揮。

国際ホルン協会会員。日本ホルン協会会員。

宮部 小牧(ソプラノ)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。安宅賞受賞。交換留学生としてウィーン国立音楽大学へ留学し、明治安田生命文化財団助成にてリート・オペラ科修了。友愛ドイツ歌曲コンクール優勝。セルトゲンボス国際声楽コンクール、日本音楽コンクール、ラインスペルク国際声楽コンクール等入賞。「フィガロの結婚」「魔笛」「リゴレット」「ホフマン物語」「ラ・ボエーム」「こもり」「ナクソス島のアリアドネ」「インテルメッツォ」(東京室内歌劇場)などに主要な役で出演。芸大「メサイア」をはじめ、「マタイ受難曲」「戴冠ミサ曲」「レクイエム」「第九」「四季」「荘厳ミサ曲」などのソリストを務める。



二期会、日本声楽アカデミー各会員。聖徳大学音楽学部演奏学科講師。フェリス女学院大学講師。

磯地 美樹(アルト)

東京芸術大学卒、同大別科修了。二期会オペラ研修所修了。ドイツのフランクフルト音楽大学に留学、Aufbau A Studium修了。「カルメン」、「魔笛」、「愛の妙薬」、「ファルスタッフ」、「ワルキューレ」、「椿姫」等多数出演。コンサートでは東京交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、「マラー交響曲第2番・復活」、ベートーヴェン「第九」、ミサ曲などに出演。09年日生劇場「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼルにて絶賛された。2010年、12年、15年にチェコ、ドイツ、スペイン、ハンガリーでのコンサートツアーに出演、好評を博した。2016年愛知にて「魔笛」に出演。2018年3月、神奈川県民ホール主催オペラ「魔笛」に出演予定。



二期会会員。聖徳大学音楽学部演奏学科講師。

望月 哲也(テノール)

東京藝大および同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてウィーンに留学。
 近年では二期会とハンブルク国立歌劇場の共同制作《皇帝テイトの慈悲》タイトルロールの他、《カプリッチョ》、《ラ・ボエーム》等に出演。いずれも高評を得る。今シーズンも《タンホイザー》《魔笛》《夜叉が池》(世界初演)と新国立劇場への客演が続いている。宗教曲の分野でも《マタイ受難曲》をはじめ、そのレパートリーは30作品以上にも渡る。



鈴木寛一、アリゴ・ボラ、エルンスト・ヘフリガー、ワルター・モーアの各氏に師事。二期会会員。聖徳大学音楽学部演奏学科講師。

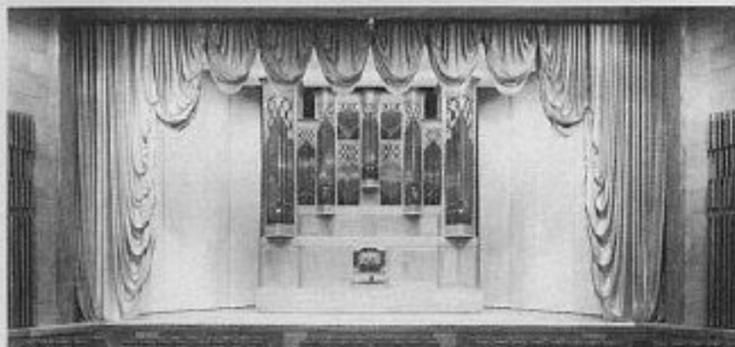
青戸 知(バリトン)

東京芸術大学首席卒業。安宅賞、松田シ賞受賞。桃李楽堂御前演奏会出演。同大学院と文化庁オペラ研修所を同時に修了。文化庁派遣芸術家在外研修員で渡伊。二期会「ワルキューレ」でジローオペラ賞新人賞受賞。新国立劇場記念「ローエングリン」で朗々たる美声で国際的に注目されN響を始め世界的指揮者から賛辞を寄せられ共演、新国立劇場「魔笛」でオペラ演出家兼舞台美術家であるミヒャエル・ハンベ氏に「生まれながらにしての舞台人」と称賛を受ける。聖徳大学大学院博士課程論文「グスタフ・マラーの音楽におけるやわらかいリズム」で博士号取得。聖徳大学音楽学部演奏学科講師。



日本声楽アカデミー会員。二期会会員。

聖徳大学川並香順記念講堂



聖徳大学川並香順記念講堂は、創立者の川並香順・孝子両先生を記念して昭和55年11月に建設されたものです。

最高度の音響・照明機能・舞台機構を備えた約1,400名収容のホールで、クラシック音楽を中心とした多目的かつ技術的に高度な利用ができるよう設計されています。さらにオレンジ・フレントロップ社製のパイプオルガン(56ストップ)が舞台中央の奥にあり、演奏目的に応じて前後に移動できる、世界でも大変珍しい機構をもっています。また特筆すべきことは、美術家であり聖徳大学短期大学教授であった故利根山光人先生と、彫刻家の多田美波先生が講堂各所の壁画、緞帳、照明器具・シャンデリア等のデザイン・制作をしたことです。なお2面の緞帳は、昭和56年度の吉田五十八賞(建設関連部門)を受賞した作品です。



会場案内

～松戸駅東口より徒歩5分～

交通案内

- 一松戸駅には一
- ・JR常磐線「上野駅」から約20分
- ・千代田線「西日暮里駅」から19分
- ・京成バス「市川駅」から約35分
- ・新京成線「津田沼駅」から50分

